広報編集室 げんきまち通信

戸田町長とカナダ・ケネル市長
オンライン会談で盟約40周年の絆を確認

1981（昭和56）年７月にカナダ・ケネル市と国際姉妹都市盟約を宣言し、昨年2021年で40周年の節目を迎えたことから、戸田安彦町長ら町三役と、ボブ・シンプソン同市市長、市国際交流協会会長のオンライン会談が実現。世界的なコロナ禍により、20年、21年と続けてケネル市訪問団の来町が中止になりましたが、今後も一層の交流が図れるよう記念事業として企画しました。

大昭和製紙（現日本製紙）の現地会社設立を機にした提携後は、両市町の代表団の隔年訪問（2013年まで）や姉妹校交流、青少年派遣・海外交流キャンプ、民間ツアーなどよる交流が活発に行われてきました。

会談は和やかに進められ、市国際交流協会を中心に交流を進めるケネル市は「今後も継続して白老町との姉妹都市交流をサポートしていきたい」とし、ウポポイがオープンしたこともあり同市の先住民族とアイヌ民族の交流も検討材料ということでした。戸田町長も「民間主体の交流やケネル市長から提案のあった手紙やビデオレターの交換などを実現に向け協議したい」と応じ、両市町の交流の在り方を今後も話し合いながら進めることを確認しました。

地域おこし協力隊通信

山崎耕佑さん（33）
文化芸術担当（１年目）

町の音の居心地よさを糧に、音楽を通したまちづくりを

白老に来るまでは札幌で小劇場といわれる所でアルバイトをして生きていました。ちょうど１年前に知人から「白老のホールで小屋付きを探しているよ。ちょっと見に来ないかい？」とお誘いを受け、しらおい創造空間「蔵」を訪れてホールにひと目惚れ。ここで働きたいと強く思い、地域おこし協力隊に応募しました。

仕事は「蔵」で事務作業や音響照明などをしていますが、音楽を創ったり、演奏したりすることが大好きで、人生の大半を音楽に費やしてきました。それを生かして竹浦小学校体育館で音楽ワークショップをしたり、高齢者大学の器楽クラブに参加したり、カフェ「結」さんの月１ライブに参加、結の２周年記念曲を作曲したりと、音楽を媒体とした地域活動も行っています。町の人たちの魅力を大好きな音楽を使って発信したり、一緒に楽しんだりしていければ、と思っています。

白老町の魅力の一つは、町から発せられる声や物音などの日常の「音」が、とても緩やかで、落ち着いている所だと思います。その優しい「音」の聴こえる世界が居心地のよさにつながっています。これからもその「音」を頼りに活動し続けていきます。

町民意見募集　第２次白老町都市計画マスタープラン案

日　程	内　容
３月１日㈫～31日㈭	都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の２に規定する「都市計画に関する基本的な方針」として、都市の将来像や目指すべき方向性、都市づくりの方針や取り組みについての考え方を示すものです。 平成16年度に策定した本プランを、都市づくりの新たな課題や社会経済状況の変化などに対応させるため改訂いたします。

問い合わせ先：政策推進課　都市企画グループ　☎８２－８２１３

白老町自治基本条例　検証報告案

日　程	内　容
３月１日㈫～31日㈭	平成19年１月１日に施行された本条例は、町政運営の基本理念や町民、行政および議会の協働によるまちづくりを行うための基本的なルールを定めたものです。 本条例では、５年を超えない期間毎に社会情勢などを踏まえ検証することと定めていることから、検証報告書を作成し、パブリックコメントを実施するものです。

問い合わせ先：企画財政課　企画統計グループ　☎８２－２７１４

◆資料配布・閲覧場所：役場、各出張所、いきいき４・６、白老コミセン、図書館、町ホームページ
◆意見の提出方法：配布場所への持参、郵送、ファクス（82−4391）、町ホームページから担当課へのEメール